

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B44	野生生物保護事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			宣言項目		
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画や第二種特定鳥獣管理計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。</p> <p>委託料の契約差金の発生等に伴う減</p> <p>(1) ガンカモ類の生息調査 △1,762千円</p> <p>(2) 特定鳥獣保護管理事業 △1,178千円</p> <p>(3) カワウ広域保護管理事業 △1,324千円</p> <p>経費節減による減</p> <p>(4) オオタカ等保護促進事業 △5千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 生息状況調査(県内167か所) 2,764千円→1,002千円</p> <p>イ 特定鳥獣保護管理事業 県保護管理検討委員会開催、生息状況調査、放射性物質調査 20,626千円→19,448千円</p> <p>ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 2,865千円→1,541千円</p> <p>エ オオタカ等保護促進事業 生息状況調査(県内160か所) 1,086千円→1,081千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 環境省の方針に基づき毎年度1回実施</p> <p>イ 特定鳥獣保護管理事業 鳥獣保護管理事業計画、第二種特定鳥獣管理計画の改訂</p> <p>ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施</p> <p>エ オオタカ等保護促進事業 オオタカ営巣地調査を実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。</p> <p>イ イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。</p> <p>ウ カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。</p> <p>エ 県内で生息数の少ないオオタカ及びクマタカを、開発行為等から保護するための生息情報を得ることができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 委託料の契約差金の発生に伴う減額 △4,141千円</p> <p>イ 経費節減による減額 △128千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,269						△4,269	23,072
現計額	27,341						27,341	